

ライチ便り No. 1

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2008年5月号～

設立総会は無事に終了しました

4月23日（水）、この日は生憎のお天気でしたが、会員55人の出席のもと、設立総会は予定通りに開催され、会則や役員、事業計画などが承認されて無事終了し、ここに「福岡広州ライチ倶楽部」が正式に発足しました。

引き続き開催された祝賀会には、福岡市から高田副市長が、地元の中国総領事館からは竇忠禕（とちゅうい）首席領事が、また広州市からは外事弁公室の王福春副主任と福岡担当の呂偉さんがわざわざ駆けつけてくださいました。

来賓の方々からはそれぞれお祝いの言葉を頂戴しましたが、王福春副主任からは刺繍でライチを描いた額のプレゼントをいただき、江頭副会長が受け取りました。この額は現在河部会長（＝九電工会長、福岡商工会議所会頭）の事務室に飾ってあります。



またこの時の様子が広州市外事弁公室のホームページに紹介されていますので、ご覧ください。中国語のため文字化けするかもしれませんが、写真はちゃんと見られます。

<http://www.gzwaiishi.gov.cn/>

これからの交流は

まず会報を発行して、会員の皆さまに「福岡広州ライチ倶楽部」がちゃんと機能していることをお見せし、安心していただかなければ…と、焦ってこの原稿を書いております。今後は皆さまからの投稿もお願いしたいものです。

会員参加の行事として「飲茶（ヤムチャ）会」をしたいと現在企画中です。

会場や講師の都合のいい日の午後、広東の点心料理をどなたかに教えていただきながら皆で作る、その日の夜、広州の話を聞きながらお茶を飲み点心を食べる…という趣向はどうでしょうか？

具体化したらまたご案内しますのでご期待ください。

このほか、広州市からインターンシップ交流の提案も受けています。日本語学生に、夏休み期間中、日本企業を体験訪問させてほしい、というもので、現在受入れ企業を募集中です。実現したら、インターンの学生達とライチ倶楽部会員との交流の場ももうけます。お楽しみに！

今回の大地震

5月12日に四川省を中心に発生した大地震は非常な災害をもたらし、北京や台北でも揺れを感じたという巨大なものでした。ライチ倶楽部では早速、河部会長名で広州市長宛に、広州市を通じて被災地の人々へのお見舞い状を送りました。

幸い広州市には何の影響もなかったようですが、2005年3月に福岡県西方沖地震を経験した私たちは、その大変さが身をもってわかるだけに、一日も早い復旧を祈らずにはられません。

** コラム・広州雑学 ① **

飲茶の文化 飲茶会を行うに当たって、まず「茶」について少し勉強しましょう。

茶の木の葉には酸化酵素が含まれている。葉を摘んで揉むと、葉の組織が壊れて細胞の内容物が混ざり合い、酸化酵素による酸化発酵が進んでいく。この発酵をどのようにコントロールするかにより、いくつかの種類に分けることができる。

緑茶 (不発酵茶) : 酸化発酵を行わないもの。 [ロンジン茶](#) など

白茶 (弱発酵茶) : ほんの少し酸化発酵させるもの。

青茶 (半発酵茶) : ある程度酸化発酵させるもの。 [ウーロン茶](#) など

紅茶 (全発酵茶) : 酸化発酵を完全に行わせるもの。

黄茶 (弱後発酵茶) : 白茶と同じ工程を行った後、軽く酸化発酵させるもの。

黒茶 (後発酵茶) : 緑茶に [コウジカビ](#) による、通常の意味での発酵を行わせたもの。

[プーアル茶](#) は黒茶に分類される。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

中国語でお茶を飲むことを「喝茶」と言いますが広東語では「飲茶 (ヤムチャ)」といいます。朝4時頃に起き出して「飲早茶」を楽しむことが広州の伝統になったのは、暑い亜熱帯気候と関係があるのでしょうか。旧時広州では茶室や茶館ではなく、もっと規模の大きい茶楼でゆっくり朝茶を飲み、点心を食べながら、世間話、ビジネス、情報交換などをしました。現在でも退職後の老人達はこうした「早茶」を楽しんでいます。若い人の中では「下午茶 (午後のお茶)」や「夜茶」に変わってきているそうです。

広州でお茶やビールをついでもらった人が、人差し指と中指でテーブルをトントン叩くのに気付いた人はいらっしゃるでしょうか？これには面白い物語があるのです。

清代、乾隆帝が身分を隠して地方巡察を行う途上、広州へやって来た時のこと。茶を飲みに店に入った皇帝は、店の者がやかんから手際よく茶を注ぐのを見て興に乗り、まねてお供の大監の茶碗に茶を注ぎました。皇帝から茶をついで頂いたのですから、本来なら急いで跪き、頭を地面につけてお礼を表すべきですが、身分を隠している手前それもできません。あせった大監は、右手の人差し指と中指で卓面をトントントンと叩いて感謝を表しました。何をしているのだといぶかる周囲の人に、大監は「これが“叩手 (首) 茶礼”というものだ」ととっさの説明をしました。これが茶礼として流行し今日に至っているのだそうです。

*会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。

連絡先 : chiba.y01@city.fukuoka.lg.jp または y-chiba.naga@tnb.bbiq.jp

